

2025年度 小・中学生



公益財団法人

JR-West Relief Foundation

JR西日本あんしん社会財団

「いのち」の作文コンクール



©Moe Nagata

作品募集 ～テーマ～

あなたにとっての「いのち」

募集期間

2025年7月1日(火)～9月12日(金) 当日消印有効

募集対象

近畿2府4県に在住・在学の小・中学生

(滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県)

表彰

入賞者に表彰状及び副賞(図書カード)を贈呈

選考委員よりメッセージ(敬称略・五十音順)



菊池 省三
(教育実践研究家)

何かについて書くということは、自分らしさに気づく旅をするということかもしれません。今年も、みなさんのそんな素敵な旅が、ひとつのカたちとなった作文に出合えることを楽しみにしています。



重松 清
(作家)

「いのち」って、とても大きなテーマです。でも、緊張しなくてもだいじょうぶ。作文には正解も間違いありません。きみの素直な思いや、忘れられない思い出を、のびのびと書いてください。楽しみに待ってるよ!



藤岡 陽子
(作家)

毎日の暮らしの中で、みなさんはたくさんの「いのち」にふれていると思います。人間、動物、鳥、魚、昆虫、草花などなど。みなさんが感じた「いのち」への思いを、私たちに教えてくださることを楽しみにしています。

2025年度 小・中学生「いのち」の作文コンクール <開催概要>

1 趣 旨

- 「いのち」についての作文を書くことを通じて、「いのち」の大切さを考えていただく。
- 作品集の発行などにより、優れた作品を世の中にお伝えすることで、「いのち」を大切にする「安全で安心できる社会」の風土づくりにつなげていく。

2 テーマ

あなたにとっての「いのち」

皆さんが感じたり考えたりした「いのち」について、幅広い観点からあなたならではのテーマを見つけて書いてみましょう。

「いのち」の誕生の喜びや失った悲しみ、「生きる」ことの楽しさや辛さ、身近な体験や本・テレビなどを通して感じたり考えたりしたことのほか、家族や友だちと話し合ったり、学校の授業で学んだりしたことでも構いません。あなたならではの「いのち」を自由に作品にしてみましょう。

【テーマ例】

- 自分自身の身近な体験を通じて感じたり、考えたりした「いのち」
 - ・弟や妹が生まれた体験、自分や家族が病気になって入院した体験、大切な人を失った体験
 - ・ペットや昆虫を育てたり、草花を栽培したりした体験
 - ・家族や友だちなど、周囲の人々との日々の何げない会話などを通じて感じた生きることの楽しさ
 - ・一期一会の出会いを通じて生きる力につながったエピソード など
- 本やテレビ、インターネット、学校の授業などを通じて感じたり考えたりした「いのち」
 - ・病気や大きな災害など困難とたたかいながらがんばっている人の姿
 - ・SNSの書き込みで考えさせられたいのちの重み
 - ・戦争、紛争、貧困など、困難な状況の中で生きている世界の人々の姿 など
- さまざまな形の「いのち」
 - ・海や山の景色、太陽や夜空の星など、自然とのふれあいで感じた「いのち」
 - ・人工知能やロボットなど、最新の科学技術の中で感じた「いのち」 など

〈作文を書くみなさんへのヒント〉

見たり聞いたり調べたりしたことだけでなく、それに対し自分がどのように感じたのかを書いてみましょう。さらに、実際に考えて行動したことがあれば書いてみましょう。とりあげる内容については、メインとなるテーマやエピソードを決め、それについてくわしく書いてみましょう。あなたの「いのち」への想いがより強く表現できます。

【参 考】 昨年度の作品集

<https://www.jrw-relief-f.or.jp/seminar/sakubun2024/>



3 募 集

- (1) 募集対象
近畿2府4県に在住・在学の小・中学生
- (2) 募集期間
2025年7月1日(火)～9月12日(金) 当日消印有効
- (3) 応募方法
 - ・1枚400字詰めの原稿用紙を使い、以下の枚数にまとめてください。
小学生1～4年生：1～2枚程度、小学生5～6年生：1～3枚程度、
中学生：2～4枚程度
 - ※原稿用紙は当財団ホームページからもダウンロードできます。
 - ※審査の都合上、1枚当たり400字詰め以外の原稿用紙は使用しないでください。
 - ※1人の作品の原稿用紙が複数枚となる場合は、なるべくホッチキス止めせずに、重ねて2つ折りにしてください。
 - ・学校単位での応募を基本とします。
 - ・学校単位での応募がない場合は個人での応募も可能です。

4 表 彰

- (1) 個人賞 入賞者に表彰状および副賞(図書カード)を贈呈します。

		いのちの作文大賞 (5万円分)	優秀賞 (1万円分)	入選 (3千円分)	計
小学生	1・2年生	1人	26人	70人程度	100人程度
	3・4年生	1人			
	5・6年生	1人			
中学生		1人			

※優秀賞受賞者の中から優れた作品や着想豊かな作品に「選考委員特別賞」を若干名授与します。

- (2) 参加賞 応募者全員に贈呈します。
- (3) 作品集 入賞者および学校単位で応募した学校に贈呈します。

5 入賞者の発表

入賞された方の公表は、2025年12月に行います。

6 表彰式

優秀賞以上の受賞者の方を対象に、2026年1月25日(日)午後、大阪市内で開催する予定です。

※受賞者の保護者及び学校関係者の方にも同席いただけます。

7 注意事項

- 応募作品は返却しません。
- 他のコンクールや出版物への未発表作品に限りません。
- 著作権は主催者に帰属するものとします。
- 入賞者全員の学校・学年・名前および、いのちの作文大賞・優秀賞の方の作品本文について、作品集・ホームページ等に掲載・公表します。
- 応募作品は今後のコンクール運営の向上のため、調査・分析で使用する場合があります。
- 応募作品に記載されている個人情報、本コンクールの運営に必要な範囲内で利用します。

8 問い合わせ先・送付先

株式会社 JR西日本あいウィル 内
公益財団法人 JR西日本あんしん社会財団
2025年度 小・中学生「いのち」の作文コンクール 応募受付係 行
〒661-0976 兵庫県尼崎市潮江5丁目6番30号
Tel 06-6420-7661(平日10:00～17:00)

9 主催・協力・後援

- <主催> 公益財団法人 JR西日本あんしん社会財団
- <協力> 西日本旅客鉄道株式会社
- <後援> 滋賀県教育委員会、京都府教育委員会、京都市教育委員会、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、堺市教育委員会、兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、奈良県教育委員会、和歌山県教育委員会、読売新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、産経新聞社、神戸新聞社、京都新聞、週刊大阪日日新聞社、日本教育新聞社、京都大学人と社会の未来研究院、大阪大学社会ソリューションイニシアティブ、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

10 その他

- 詳しくはJR西日本あんしん社会財団のホームページをご覧ください。
<https://www.jrw-relief-f.or.jp/seminar/sakubun2025/>



JR西日本あんしん社会財団は、福知山線列車事故の反省の上に立ち、設立されました。「安全で安心できる社会」の実現に少しでもお役に立てるよう、事故や災害等で被害に遭われた方々の心身のケアに関わる事業や、地域社会の安全構築に関わる事業などに取り組んでいます。